

教員の加配の継続に関する要望

要望の要旨

教職員の定数加配は、「指導方法の改善」や「学級編成弾力化」等への対応の他、震災後は被災地へ行われる教育復興加配を主として、多くの教職員が加配されております。

本市の学校の現状は、いまだに震災の影響で精神的に不安定な児童・生徒も多く、また、当時乳幼児であり、愛着障害の症状をもつ子どもたちも多く入学しております。

その状況下で、教職員は児童・生徒の心のケアの他、保護者への相談対応等も多く、業務過多になっております。

以上の状況から、児童・生徒、保護者の状況を含めた教育環境の安定のためには、「加配」は大変ありがたい支援であることから、教員の加配の継続支援を強く要望します。

要望の理由

児童・生徒を取り巻く環境は、少しずつ改善されてきていますが、震災の影響による学区外通学やスクールバスによる遠距離通学など、以前にはなかった負担を抱えて学校生活を送る児童・生徒がいます。また、乳幼児期に震災の

混乱の中を過ごし、心に不安を抱えた子どもたちも多く、入学後に学校生活になかなか適応できない状況が見られます。

教職員については、震災以降、事務量はもちろん、児童・生徒の心のケアや保護者対応など、一人当たりの業務量は増加したままであります。そのような状況で、本市をはじめ被災地に優先的に教職員を加配していただいているお陰で、教育活動を正常に近い形で行うことができいております。

本市では、教育活動の正常化を目指し、教育環境の再建に取り組んでいるところではありますが、相当の期間を要するため、今後につきましても、加配事業の継続と本市への優先的な教職員加配の実施を要望します。